□□□□

□□□

— とうや@食品メーカー研究職 (@NzXyZQDOCMpLgz5) April 10, 2023

約40%ではリモートワークが、約35%では在宅勤務が認められている

という結果が得られました。

裏を返すと、約2割の会社では認められていないんですね…

使用回数などに制限があるか

多くの会社でリモートワークや在宅勤務が認められているようですが、

実際に自由に使用できるのでしょうか?

例えば、1か月あたりX回まで、繁忙期はダメ、など、

利用には何らかの制限がある会社もありそうです。

そこで、「時期、回数、時間などに制限があるか? 」というアンケートを取りました。

結果はこちら⬇

> 企業の研究職の皆様、リモートワークや在宅勤務の利用時期、回数、時間に制限はありますか?
>
> — とうや@食品メーカー研究職 (@NzXyZQDOCMpLgz5) April 12, 2023

約半数の人は自由に利用できると回答しました。

リモートワークや在宅勤務を自由にできることは、

□□□

どのくらいの頻度で使っているか

リモートワークや在宅勤務の制度が整っていたとしても、

実験や作業を主な業務をしている方は、出社中心の働き方になるでしょう。

受け持っている仕事によって、リモートワークの実施状況には個人差がありそうです。

そこで、「リモートワークや在宅勤務を、実際にどのくらいの頻度で使用しているか？」

を聞いてみました。

結果はこちら↓

> 企業の研究職でリモートワークや在宅勤務が利用できる方に質問です。
> およそ週何回利用していますか?
>
> — とうや@食品メーカー研究職 (@NzXyZQDOCMpLgz5) April 11, 2023

結果を見ると、

「研究職の多くは、リモートワークをほとんど使わない」

というのが実情のようです。

やはり、実験・作業を伴う仕事が多く、出勤が必要な方が多いのでしょうか？

一方で、週1~2回を使用している方も約4割いました。

「実験の日が週3回、事務作業の日が週2回」

のような使い方が想像できますね。

実験・作業の日と事務作業の日をしっかり分けることで、

研究職でもリモートワークを取り入れることは可能なのかもしれません。

まとめ

・約7割の会社でリモートワークor在宅勤務の制度がありそう。

・利用に制限がついている会社も存在する。

・事前に上司の承認などがなくても使える会社も多い。

・研究職の約半数はリモートワークや在宅勤務をほとんど使わないが、週2回使う人もいる。

もし、現在かなり自由度の低い働き方をしている方は、

会社を変えてみたら自由度の高い働き方を得られるかもしれません。

例えば、

実験をする時だけ出社し、週1回事務作業を自宅で実施する。

といったことも可能になるでしょう。

今回の結果で他社の状況も気になった方は、

一度転職エージェントから情報を集めてみることをお勧めします。

当ブログの運営者は、2023年に転職エージェントを使用して研究職の転職に成功しました!

> 転職が決まりました。
> 次も同じ業界の研究開発職です。
> 環境もやることも変わりますが、次の場所でも楽しく働きたいです。
>
> ー とうや@食品メーカー研究職 *(@NzXyZQDOCMpLgz5) January 31, 2023*

私が使用した転職エージェント・転職サイト

転職時だけでなく、転職後の対応についても転職エージェントに相談していました。

私は、主に以下の2つを併用しました。

JACリクルートメント

（高年収のハイクラス転職を目指したい方）

JACリクルートメント
アカリクキャリア

（大学院卒の強みを生かした転職に特化）

【アカリクキャリア】

それぞれ用途が違うので、

研究職の方はすべてに登録し、できるだけ早く面談することをお勧めします！

登録と求人紹介はすべて無料です！

転職を希望している方もしていない方も、

早い段階で登録して自分の市場価値や転職可能性を知っておきましょう！